

3 - 9 首都圏の上下変動

Vertical Movement in the Metropolitan Area

国土地理院
Geographical Survey Institute

1982年10月から1983年2月にかけて首都圏で実施した水準測量の結果について報告する。

第1図は水準原点から大宮、野田を経て船橋に至る路線で、毎年同じところで地盤沈下の影響がみられる以外は変動は認められない。この路線は「首都圏精密基盤傾動測量」にも含まれている。

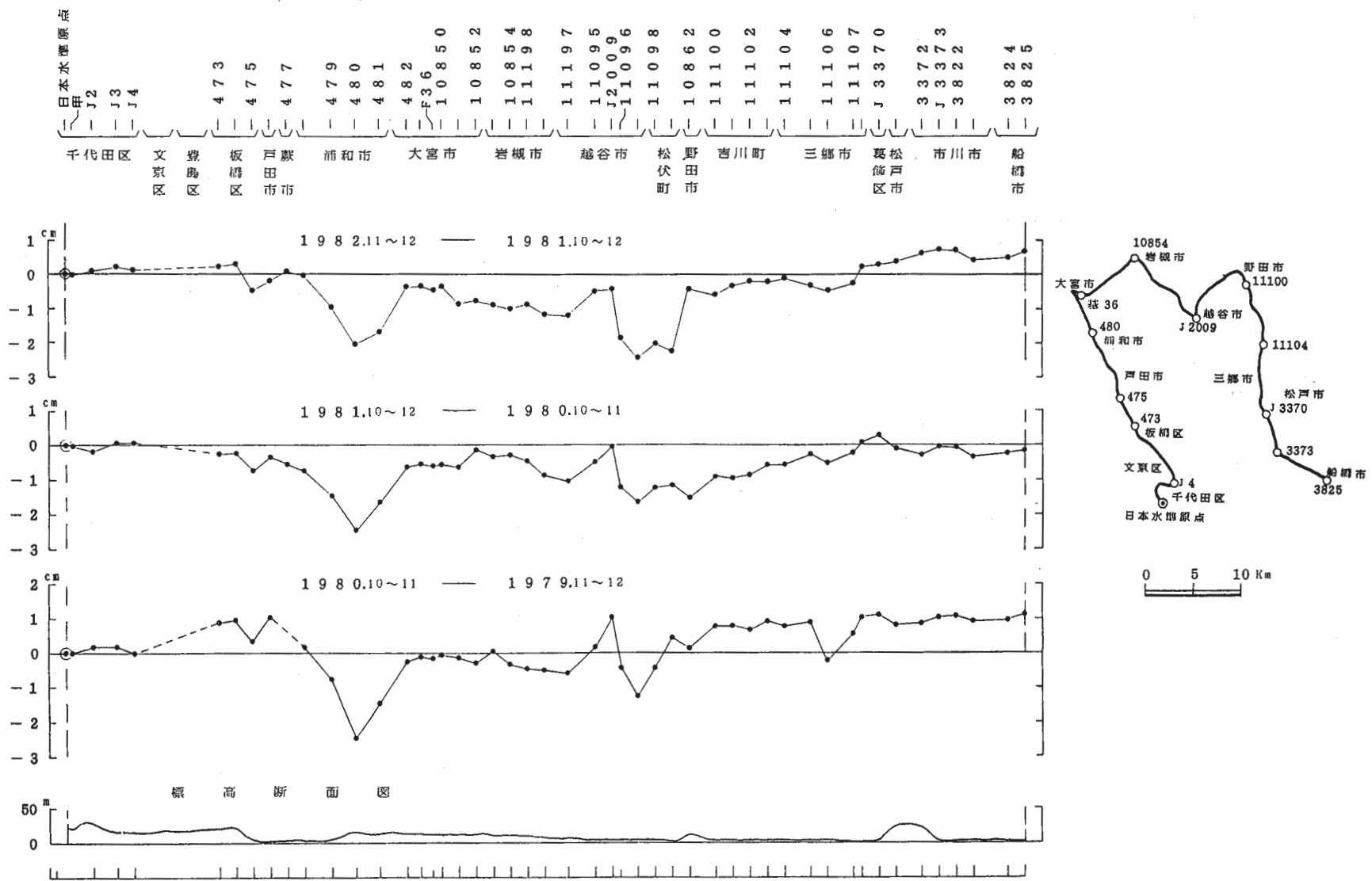
第2図は水準原点から千葉原点に至る路線で、今回の結果では原点から船橋にかけて押し上げりぎみとなり、船橋と習志野の間で急に落込み千葉側ではわずかな沈下となっている。前々回の結果も同じ傾向を示しており、船橋、習志野間でなんらかの不連続があるようにみられるが、断層があるかどうかは不明である。

第3図及び第4図の原点から横浜を通り小田原までの路線については、藤沢付近に多少落ちこみがみられる程度で全体として変動は極めて小さい。

第5図は三浦半島を一周する路線で、三浦半島の先端の方が沈下を示している。

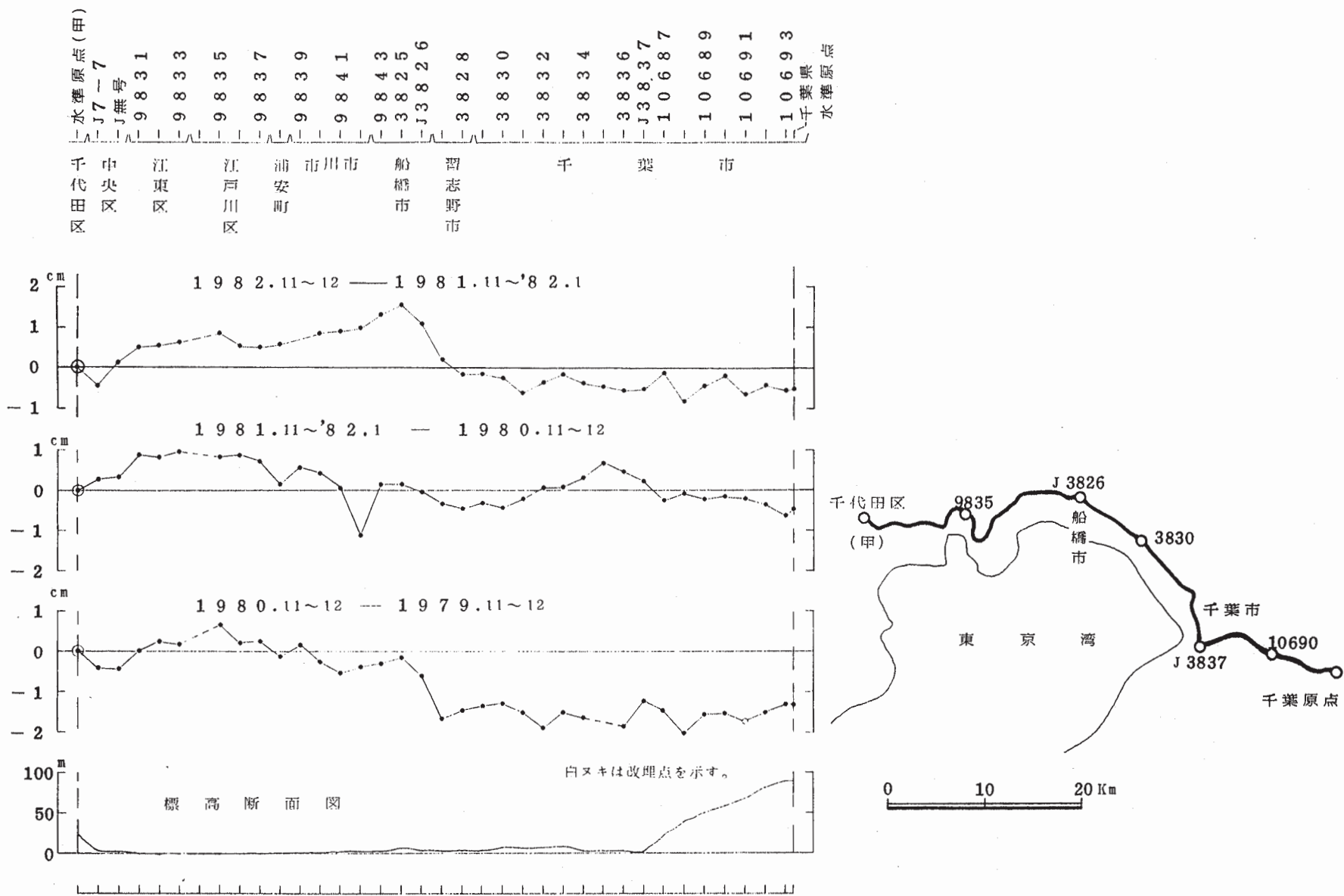
参 考 文 献

- 1) 国土地理院：首都圏の上下変動，連絡会報，28（1982），130 - 136.



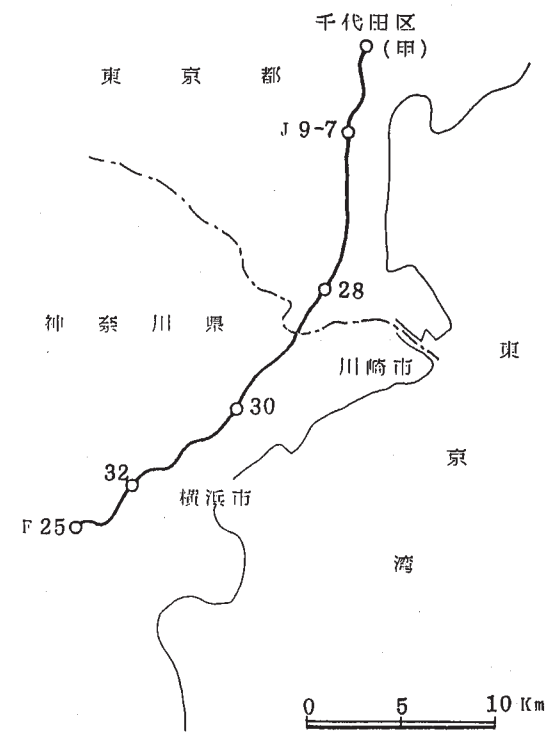
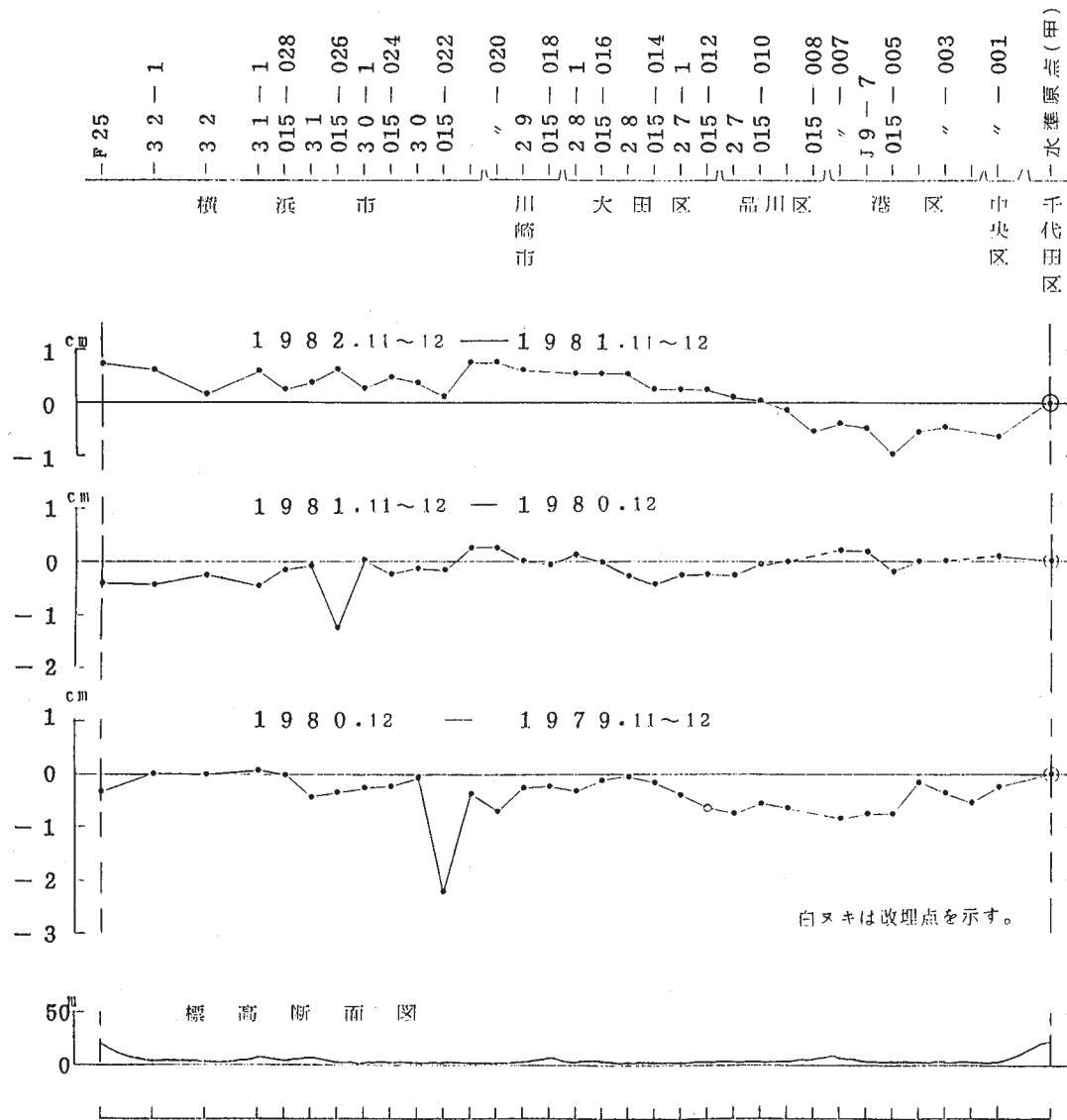
第1図 水準原点～大宮～野田～船橋間の上下変動

Fig. 1 Level changes along the route from leveling datum to Funabashi through Omiya and Noda.



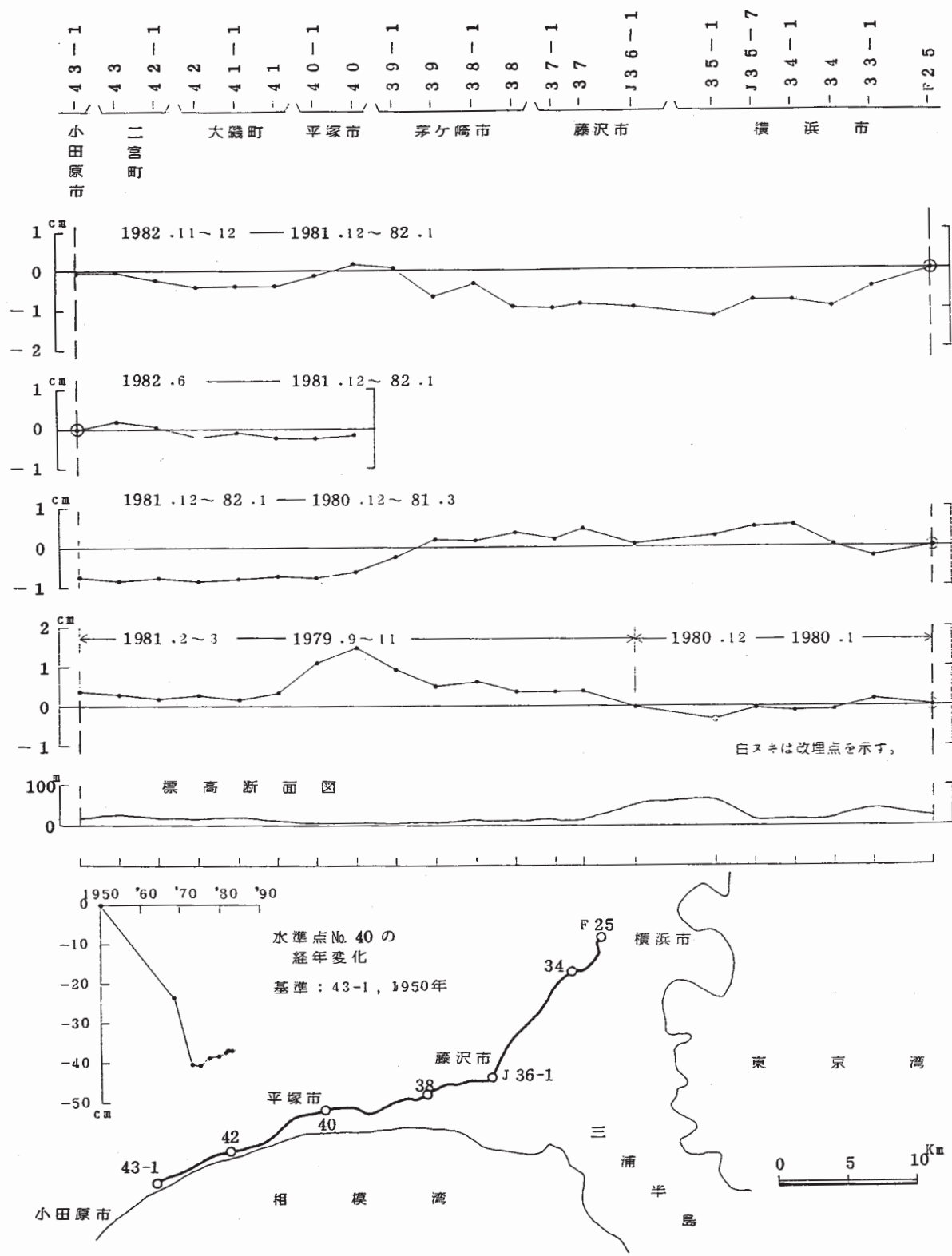
第2図 水準原点～千葉原点間の上下変動

Fig. 2 Level changes along the route from leveling datum to Chiba datum.



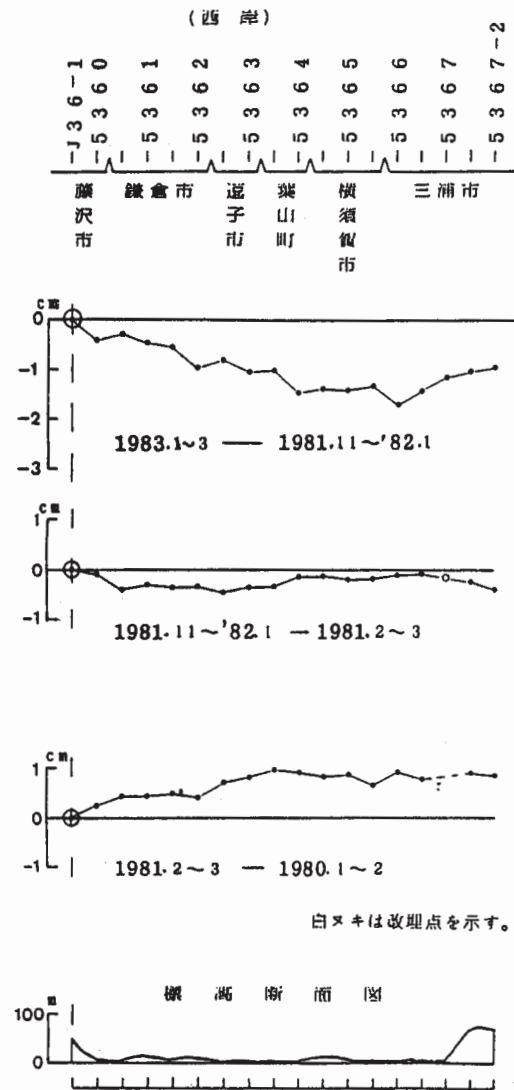
第3図 水準原点～横浜間の上下変動

Fig. 3 Level changes along the route from leveling datum to Yokohama.



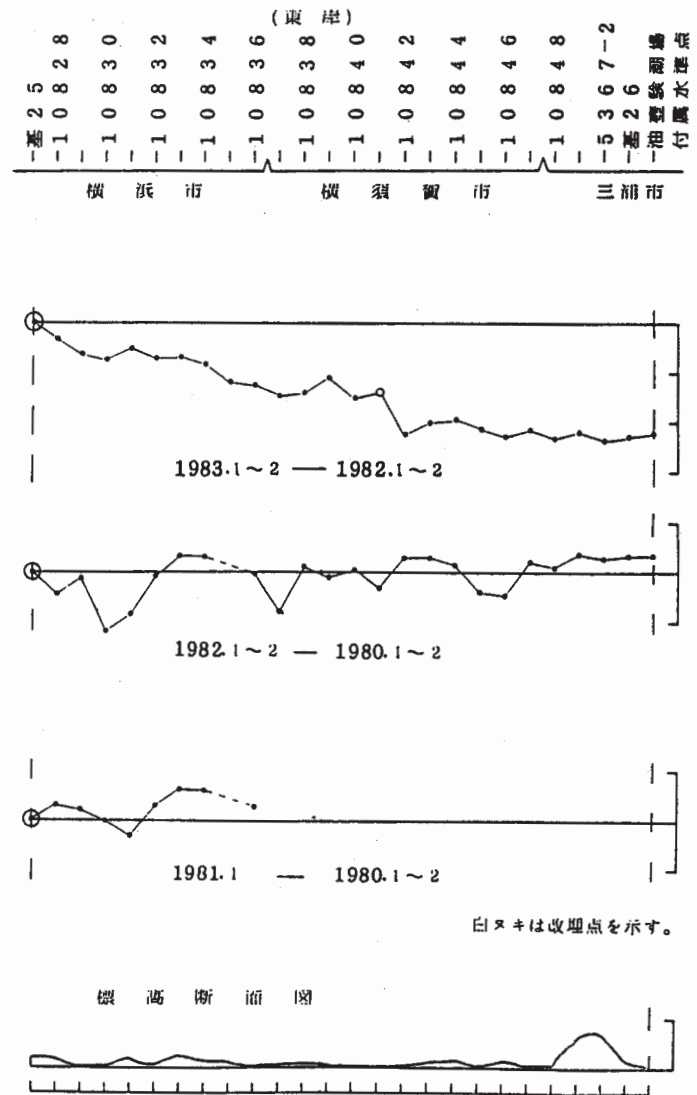
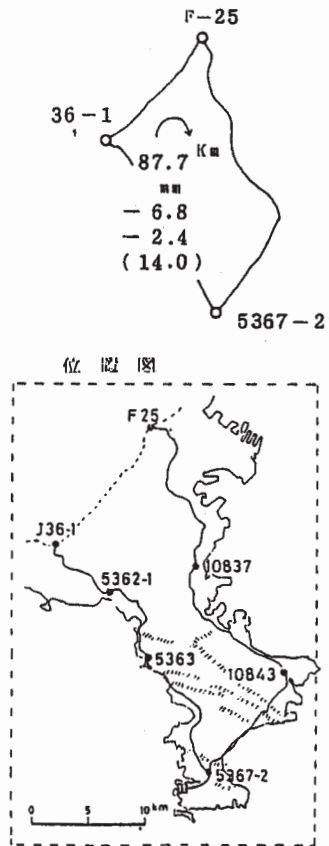
第4図 小田原～横浜間の上下変動

Fig. 4 Level changes along the route from Odawara to Yokohama.



閉 合

観測
 上段：1982.11~1983.3
 下段：1981.11~1982.2
 () : 制限値



第5図 三浦半島の上下変動

Fig. 5 Level changes in the Miura Peninsula.